

# 「二番になれるニッチ市場で勝負！」 女性向けカメラ商品で国内トップ 目黒から世界進出を夢見て

アドリーブ

アドリーブ（目黒区祐天寺、中村一子社長、03・3713・4414、<http://www.adrive.com>）は「女性が楽しく写真を撮りたくなるグッズ」をコンセプトにしたオリジナルブランド「mi-na（ミーナ）」を展開、女性用のカメラ用品を企画・販売している。

平成20年にスタートした同ブランドは折からのカメラ女子ブームで急成長を遂げ、カメラの大好きなスタッフが自分でも使いたくなるような商品だけを開発してきた。主力商品はカメラストラップ、カメラケース、カメラバッグなど多岐にわたる。ブランドスタート当初から、「売れるものを作る」のではなく「mi-na」というブランドとしてのコンセプトや大手メーカーとの差別化を明確にしてきた。この10年間で開発した商品は400種類を超え、女性用カメラ用品のブランドとしての国内での認知度

はかなり高い。平成27年からは工房を新設してサンプル生産のスピードアップを図り、新商品開発の丁寧さとスピードが強みとなっている。

平成25年からは、カメラ業界のトップメーカーキャノンとの取引が始まった。現在は中国のキャノンとも取引を行い、人口減少などで厳しい状況が続く国内のみならず、今後はEU諸国への輸出も進めていく予定だ。「女性向けのカメラ用品という市場は決して大きな市場ではないが、世界でオンラインワンの商品を作れば必ずニーズはあると信じて今後も努力していきたい」と社長は熱く語る。

こだわりの詰まった同社ショールームへ、ぜひ一度足をお運びください！



女性が楽しく写真を撮りたくなる、オリジナルブランド「mi-na」の商品



ショールームで、じっくりご覧ください！

新設した工房